

12月23日(金)守る会結成40周年記念イベント開催まで、あと5ヶ月に迫りました！！

守る会ホームページ！！ <http://shirakawa-go.com/~ogimachi>



白川郷荻町集落の自然環境を守る会 発行 平成23年7月号

「守る会40周年を振り返って」活動者懇談会を開催！！

去る7月8日、荻町多目的集会施設において、みだしの懇談会を開催しました。これは守る会結成40周年記念事業の一環として実施したもので、今回は守る会の歴史を知る先輩方5名（写真右）にお集まりいただきました。昭和40年代の守る会結成以前の社会情勢から昭和51年の伝建地区選定、そして世界遺産登録にいたる様子について広く語っていただきました。懇談会の詳細については、記念誌に掲載を予定していますが、今回はその一部を紹介いたします。

復員兵が地域のリーダーに……戦後荻町では山本幸吉氏、板谷静夫氏といった先輩方が軍隊から復員し、外から故郷を見た経験を活かしながら、青年団活動や公民館建設、郷土芸能の復興に力を注いでいった。その活力が合掌造りを保存し地域振興に役立てようとする守る会設立の原動力につながっていった。

合掌保存組合の設立……ダム建設や生活の近代化により、合掌造りがどんどんなくなっていく現状があった。大きな合掌家屋はよそへ売られていき、自分の家も売りに出す話が出ていた。しかし、村が生き残るには合掌を守らなければだめだ。結による屋根葺きをしっかり行い、合掌を守って観光に活かすのだとリーダー達が奔走し、合掌家屋の流出を食い止め、合掌保存組合を創り上げた。

住民憲章の制定……白川にゆかりのある作家江夏美好氏のご縁で、長野県妻籠宿の保存活動の推進者である小林俊彦氏との親交が深まり、妻籠宿の保存憲章を見習い現在の住民憲章ができあがった。また、これを大寄り合いに通すため、リーダー達は1年以上かけて住民の理解を得るための根回しに動いた。

トタン屋根を焦げ茶に……合掌家屋に合った自然景観にするため、一番に取り組んだのはトタン屋根の塗り替え作業。素人が行う作業であったため大変であった。日本ナショナルトラストからの3年間の助成金が支えとなり、取り組みが実現した。これが現在の修景事業や守る会のペンキ補助につながっている。

茅場の造成……保存組合により屋根葺きの技術を持つ人の育成はできたが、茅が足りないという問題が生じてきた。そこで小茅の育成や茅場の造成にむけ取り組みを進めた。岐阜大学の専門家から本を取り寄せ研究に邁進し、茅場の造成にも成功した。地元の茅で屋根葺きができるのが一番。今後も更なる努力を。

世界遺産と結……世界遺産登録の前に審査があったが、白川は100%登録間違いのないと言われた。それは結による屋根葺きに代表されるよう、住民みんなで保存に取り組む絆ができていた点が高く評価されたからだ。世界遺産を守るのも合掌家屋を守るのも、全て住民の手にかかっているのだ。

以上、紙面の都合上ここまで。お話をいただきました5名の先輩諸氏に心より感謝申し上げます。記念誌の発行にむけ、あと1回懇談会が開催できればと考えています。また、区民の皆様より、住民憲章設立当初のお話や懐かしい昔話、守る会へのご意見等情報をお寄せ頂けたらと願っています。いつでもお話を伺いに飛んでいきますので、ご協力の程よろしく願い申し上げます。 [文責：和田]



【鈴木茂氏】



【福地洋一氏】



【和田利治氏】



【根尾治吉氏】



【太田由朗氏】

【シリーズ守る会結成40年・その3】

守る会発足当時の産業と観光振興

守る会発足当時の荻町は、大半が耕地面積0.5ha未満の小規模農家で専業では生計を維持することはできず、世帯主である男性のみならず一部の主婦も現金収入を求めて働きに出ていた。当時の主な働き場所は建設業と比較的規模の大きい2つの製材工場における製造業で、これらへの荻町の就業者数は合わせて109名、全就業者数の約30%を占めていた。しかし、建設業は公共事業に依存するものであり継続的に発展する産業としては望めず、一方豊富な森林資源を背景に設立された製材工場も、自然保護・災害防止の為に森林保護思想の広がりとともに、伐採規制等による厳しい状況を迎えつつあった。

これ以前、一部で規模の大きな畜産業や高冷地野菜の栽培等の取り組みもあったが、市場から遠隔地にある交通事情や3Kに等しい労働環境等から厳しい経営状況にあった。また、工場誘致を模索する動きもあったが、荻町地区内での観光振興に支障をきたすとして立ち消えとなっていた。

このような将来展望が描けない状況の中で盛り上がったのが、合掌家屋とその周辺の自然環境の保護・保全とその利用による観光振興に活路を見いだす発想であった。住民憲章の制定と守る会結成による保存活動がなければ、荻町の合掌集落も村も今は残っていない。

（「守る会40周年を振り返って」活動者懇談会より） 【文責：板並】



【結による田植えの風景と合掌家屋（S46）】

世界遺産に小笠原諸島と平泉が登録！！……

6月末にフランスのパリで開催された国連教育科学文化機関（ユネスコ）の世界遺産委員会において、日本が推薦した「小笠原諸島」（東京都）と「平泉の文化遺産」（岩手県）の登録が正式決定しました。平泉は平成20年の同委員会で登録が見送られ、「浄土思想」を軸に中尊寺や毛越寺など5資産に絞っての再チャレンジで登録となりました。今回の登録で世界遺産は936件、日本の世界遺産は文化遺産12件・自然遺産4件の計16件となります。ちなみに白川郷は平成7年登録、日本で6番目の世界遺産となります。プチ情報です。 【文責：和田】

守る会の活動指針（国際フォーラム白川郷宣言より）

- (1) 隣人にやさしい心豊かで安全な共同生活のいっそうの充実
- (2) かけがえのない美しい文化遺産の保全と未来への確かな継承
- (3) 国内外の人々との文化交流を通して友好の輪の拡大

＝ 6月の活動報告 ＝

- 6月10日 6月定例会
- 6月12日 ねそ6月号配付
- 6月14日 集落整備事業助成検討委員会・合掌財団評議員会（副会長・事務局）
- 6月21日 合掌財団理事会（会長）
- 6月25日 雑誌みどり取材（会長・事務局）
- 6月27日 三菱総合研究所研修取材（事務局）
- 6月27日 役員会

【8月の定例会は10日(水)公民館にて開催を予定しています。】

＝ 区民の皆様へ ＝

建物や土地などの現状を変更する場合は許可が必要です。必ず現状変更申請をして下さい。申請書は守る会定例会の2週間前までに、各組委員に内容を説明の上、委員又は財団に提出して下さい。このことは、遺産の保全と未来への継承のためとても重要なことです。皆様のご理解ご協力をお願いします。

☆7月の協議事項（現状変更申請に関わって）☆

****・・・木部箇所塗装

****・・・融雪管設置

****・・・新築建物

****・・・仮設日除け設置